

## 第 37 回 長崎都市経営戦略推進会議

平成 26 年 10 月 29 日 (水)  
10 : 00 ~ 12 : 00  
長崎商工会議所 2F 特別会議室

議 題 等	資 料
1. 議長挨拶	
2. 議題等	
<決議事項>	
(1) 第 3 ステージの取組みの方向性について	資料 1
<協議事項>	
(2) MICE について	資料 2
<報告事項>	
(3) 「年賀状で長崎夜景をアピールすうで」キャンペーンについて	
3. 閉会	

# 第3ステージの取組みの方向性(案)

第3ステージ(世界に、日本に誇る国際都市長崎へ向かう成果を示す)

5年間の目標

人が集まりモノが動く、コトが進む、活力あふれる経済基盤を備えた都市



## 「造船(技術)の町」長崎の再構築

基幹製造業  
振興対策  
WT

ながさき海洋・環境産業拠点特区の活用

基幹事業所支援

高付加価値船等建造の支援

地場企業  
振興対策  
WT

地場企業の競争力強化への支援

## 「アジアの学都」長崎の構築

留学生受入  
体制の充実  
WT

留学生3千人体制の推進

国際交流の拡充

産学官連携の推進

インターンシップ等の推進

大学等への地場企業の情報提供

産学官連携  
WT

海洋エネルギー分野への進出支援

地域企業への総合的支援体制の構築(ワンストップサービス)

世界遺産登録の推進

新幹線整備促進  
まちづくりの推進

MICEの推進

新幹線受入体制サポート

地域及び層の広がり

## 「国際(アジア)観光の町」長崎の構築

おもてなし  
WT

おもてなしの充実・推進

マーケティング  
対策 WT

情報発信の強化・充実

観光資源の  
再構築 WT

まちの魅力づくり

夜景プロモーション  
実行委員会

夜景観光の推進

## 「水産の町」長崎の強化

長崎かんぼ  
こ王国推進  
委員会

水産練り製品販売拡大

さかなの町  
長崎の振興  
WT

「食と観光」等を踏まえた水産分野  
への新たな対応

## 第3ステージの推進体制(案)

## ＜推進会議＞

推進委員	テーマ	基本的な方向
	海洋エネルギー分野への進出支援	・長崎海洋産業クラスター形成推進協議会との連携を図り、地場企業の海洋エネルギー分野への進出を支援
	地域企業への総合的支援体制の構築(ワンストップサービス)	・創業支援、販路拡大等、中小企業の課題解決に向けて、関係機関が一体となって支援する体制の構築
	世界遺産登録の推進	・2つの世界遺産登録に向け、県・市との連携を強化し、活動を支援
	新幹線整備促進 まちづくりの推進	・新幹線の早期開通及び都市再生事業等の進展を支援
	MICEの推進	・行政等の動きと連動し、MICE事業化をサポート
	新幹線受入体制サポート	・新幹線に係る情報収集と推進会議への情報提供 (当面は事務局がその機能を担う) ・関係機関(県・市等)の活動進捗に応じ、必要な時期にワーキングチームを組成
大学・広報・連携 (河西委員)	地域及び層の広がり	・若手団体等、県内他地域との連携活動を推進

## ＜ワーキングチーム＞

WT	推進委員	テーマ	基本的な方向
基幹製造業振興対策 (永井座長)	基幹製造業 (平松委員)	・ながさき海洋・環境産業拠点特区の活用 ・基幹事業所支援 ・高付加価値船等建造の支援	・基幹事業所の変化に対応するための情報収集の強化 ・「ながさき海洋・環境産業特区地域協議会」の活動と連携 ・基幹事業所関連中小企業の競争力強化等の支援
地場企業振興対策 (西座長)		・地場企業の競争力強化への支援	・受注力向上、人材育成等の中小製造業の活動に対する支援
おもてなし (塚原座長)	観光 (篠原委員)	・おもてなしの充実・推進	・県民総おもてなし運動と連動し、民間としての主体的な観光客受け入れ態勢の強化 ・まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携強化
マーケット対策 (前原座長)		・情報発信の強化・充実	・多様な情報発信の方策の検討 ・まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携強化
観光資源の再構築 (村木座長)		・まちの魅力づくり	・行政の施策と連動し、まちの魅力の顕在化の検討 ・まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携
夜景プロモーション実行委員会 (太田副委員長)		夜景観光の推進	・世界新三大夜景の認定を踏まえ、行政の施策等と連動した夜景観光の充実
留学生受入体制の充実 (殿村座長)	大学・広報・連携 (河西委員)	・留学生3千人体制の推進 ・国際交流の拡充	・留学生支援センターの運営体制・財政基盤の確立の支援 ・国際交流の機能強化の検討
産学官連携 (岩根座長)		・産学官連携の推進 ・インターンシップ等の推進 ・大学等への地場企業の情報提供	・コーディネーターの連携体制の検討 ・留学生のインターンシップ等の支援 ・地場人材が地場企業で活躍できる機会を拡大し、地場企業の人材面からの活性化を支援
長崎かんぼこ推進委員会 (石橋委員長)		・水産練り製品販売拡大	・県、市との連携による域外への販促活動の強化 ・販売額倍増(60億円→120億円)への対策の検討
さかなの町・長崎の振興(検討中)		・「食と観光」への課題抽出等の検討	「食と観光」への課題抽出等の検討

## 当面の推進方針

分野	テーマ	定量目標	基本的な方向	具体策	主担当	主関係先	推進実績	
全体的な項目	GDPの維持向上（県民所得向上） 人口減対策	①1人あたりGDP（長崎地域） 目標 331万円 （2007年度比 +5万円、ト ント比 17万円増） ②産出額（長崎地域） 目標 359 百億円 （2007年度比 3 千億円減） ③就業者数（長崎地域） 目標 302 千人 （2007年比 1千人減）	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来同様、選定した重点分野を中心に、テーマ（効果の大きいもの、実現性のあるもの）を選定し、重点的・継続的に推進する。</li> <li>関係者の連携のための活動を強化する。</li> </ul>	基幹製造業分野、観光分野、水産分野、大 学分野を中心に、その後の環境変化も考慮 して重点的に活動する。	推進会議	県、市、経済界	H26.4.30 長崎県総合計画推進会議実 務者会議において、当該会議への「県 民所得向上対策促進会議」としての役 割付加について確認、取組開始。	
				推進会議は年 9 回程度開催。 9 ワーキングチームで活動。必要に応 じ、関係者の参画を得ながら活動を推 進している。 コアミーティングは毎週初の 16 時よ り開催中。 アクションプランは、課題、推進体制 等の整理・見直しを実施中。 構成団体の会合、講演会等、議会を初 めとした外部団体などで、広報活動を 実施。HP 改修案を策定中。				
運営体制の強化	地域および層の広がり		<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を示す第 3 ステージの実現に向け て、適宜運営体制の整備・強化を行う。</li> <li>さまざまな機会を捉えて広報活動を展 開する。</li> </ul>	推進会議の定例開催 ワーキングチームの新設・改廃及びメンバ ーの見直しによる運営体制の強化 コアミーティングの運営強化 アクションプランの充実・活用 対外広報の活発化	推進会議	経済団体		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>若手団体等、県内他地域との連携活動 を推進する。</li> </ul>	させば未来創造フォーラムとの情報交換、 連携強化、共通の活動テーマ等を検討する。	推進会議		県内他地域への呼びかけ実施
				<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎海洋産業クラスター形成推進協議 会との連携を図り、地場企業の海洋エネ ルギー分野への進出を支援</li> </ul>	情報の収集・還元を語り、活動を支援する。	推進会議	長崎海洋産業クラス ター形成推進協議会、 県	H26/6、長崎海洋産業クラスター形成 推進協議会を設立。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援、販路拡大等、中小企業の課 題解決に向けて、関係機関が一体となつ て支援する体制の構築</li> </ul>	県、市及び関係団体と連携し、情報交換、 対応の検討を行う。	推進会議	県、市、会議所	
地域企業への総合的支援体 制の構築(ワンストップサー ビス)	世界遺産登録の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>2 つの世界遺産登録に向け、県・市と の連携を強化し、活動を支援</li> </ul>	県、市及び関係団体と連携し、情報交換、 対応の検討を行う。	推進会議	県、市	<ul style="list-style-type: none"> <li>国への要望活動を実施</li> <li>三菱重工、県、市で「3者会議」を 立ち上げ、情報や課題を共有し、イコ モト調査への対応を検討</li> <li>各地で写真パネル展開催、主要交通 拠点での広告掲出、関係先へのポスタ ー等の配布、会議所ニュース等での特 集</li> <li>JCにて、帆船まつりでPRブース展 開</li> </ul>	

## 当面の推進方針

分野	テーマ	定量目標	基本的な方向	具体策	主担当	主関係先	推進実績
	新幹線整備促進 まちづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線の早期開通及び都市再生事業等の進展を支援</li> </ul>	関係機関等の動きに合わせた活動を推進する。	推進会議	県、市	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致推進協議会準備会を開催し、設立に向けた準備を開始。</li> <li>MICE 事業説明会を開催。</li> <li>ながさき MICE フォーラムを開催</li> </ul>
	MICE の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>行政等の動きと連動し、MICE 事業化をサポート</li> </ul>	広報、誘致活動等の推進を支援する。	推進会議	市、長崎 MICE 誘致推進協議会	
	新幹線受入体制サポート		<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線に係る情報収集と推進会議への情報提供(当面は事務局がその機能を担う)</li> <li>関係機関(県・市等)の活動進捗に応じ、必要な時期にワーキングチームを組成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県・市の動きに呼応し、経済団体の連携強化に向けて県・市との協議、調整を行う。</li> </ul>	推進会議	県、市、新幹線関係団体、経済団体	
	夜景観光の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界新三大夜景の認定を踏まえ、行政の施策等と連動した夜景観光の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イルミネーションによる夜景の魅力向上</li> <li>「年賀状で長崎夜景をアピールすうで」キャンペーンの実施などによる夜景観光の推進</li> <li>船所側の海岸沿いの明かり対策</li> <li>夜景の在り方検討会による夜景整備</li> </ul>	夜景プロモーション実行委員会	コンベンション協会、企業 商工会議所青年部(夜景プロモーション実行委員会) 会議所、同友会、県、市、造船関連企業、	<ul style="list-style-type: none"> <li>国体時に 2014 光のおもてなしを実施</li> <li>国体時に夜景観賞を呼びかけるチラシの作成・配布</li> <li>総文祭の折に「光のおもてなし」実施</li> <li>「長崎夜曲」制作、プロモーション</li> <li>「長崎夜曲」の楽譜配布、映像と組み合わせた PR 実施</li> <li>夜景ウイークを設定</li> <li>グラバー園イルミネーション、中町教会ライトアップ等冬季イルミネーション充実(10/10～1/25)</li> <li>市街地の灯りの整備(～H28年度)</li> <li>松が枝地区、魚市跡地等の水際線の顕在化計画</li> <li>ライトアップ助成制度の見直し</li> <li>稲佐山や鯛冠山などの視点場ならびに視点場へのアクセスの整備計画</li> <li>稲佐山山頂にメッセージ表示可能なモニュメント設置(10月予定)</li> <li>既存イベントと連携した夜間イベントの計画</li> </ul>
	地域及び層の広がり		<ul style="list-style-type: none"> <li>若手団体等、県内他地域との連携活動を推進</li> </ul>		推進会議		

## 当面の推進方針

分野	テーマ	定量目標	基本的な方向	具体策	主担当	主関係先	推進実績						
基幹製造業	ながさき海洋・環境産業拠点特区の活用	①基幹製造業本体の生産規模維持・確保 ◇生産5,160億円の維持 ②地元企業の受注率引き上げ ◇地元受注率10%引き上げ (08年度44%→54%)	・「ながさき海洋・環境産業特区地域協議会」の活動と連携 ・基幹事業所の変化に対応するための情報収集の強化	戦略産業雇用創造プロジェクトの活用及び 県・市による施策等により、人材育成の推進 ・県・市による地場企業の投資等にかかる支援策の実施 ながさき海洋・環境産業拠点特区を活用した建造体制支援	基幹製造業 振興WT	三菱重工、県、市、企業	H25年度施策で実施						
								基幹事業所支援	基幹事業所との情報交換と産学官連携した対応	三菱重工、県、市、企業	・H26/7、主要関係者による情報交換を実施 ・H26/3、MHPS表敬訪問し連携を要請		
								高付加価値船等の建造支援	基幹製造業合同説明会の開催 客船建造に向けた支援	基幹製造業合同説明会の開催	H26.9.17、合同説明会を開催 ・随時、宿舍、倉庫、駐輪場等の物件を幹旋。課題整理のため、市・重工で協議を実施。 ・通勤対策では、通勤船の増便、南部地区でのバス運行の対策を実施。長崎市より元船地区に駐輪場を提供。		
観光	おもてなしの充実・推進	①観光客数増加および宿泊日数の長期化 ◇長崎市の観光客 556万人 → 700万人 (宿泊246万人) →(宿泊客350万人)	・県民総おもてなし運動と連動し、民間としての主体的な観光客受け入れ態勢の強化 ・まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携強化	・アダプトプログラム、おそうじさるくの参加団体の拡大により、総おもてなし運動を推進 ・民間Wi-Fiポイントの充実	おもてなしWT	総おもてなし運動推進事務局(長崎地域は市・推進会議)	・アダプトプログラム参加、おそうじさるく実施 ・ながさき・おもてなし協力隊参加 ・市観光ネットワーク推進協議会参加 ・4か国語観光案内板、指差しマップ等整備協力 ・会議所等で接客サービス講座実施(7/16市が宿泊施設関係者におもてなし講習会実施) ・団体時に競技会場までのアクセスの分かるサイトを紹介するチラシを作成・配布し、団体の受け入れ態勢を支援 ・ボランティアの募集、研修						
								地場企業の競争力強化への支援	・受注力向上、人材育成等の中小製造業の活動に対する支援	地場企業の競争力強化への支援(戦略産業雇用創造プロジェクトを活用した人材育成) 販路拡大の支援	地場企業振興WT	工業会、県、市、会議所	財団にて客船にかかる事業誘致・提携等を実施し、ビジネスフェア開催 H25/10より、具体的な取組みを開始 県・市との情報交換を実施

## 当面の推進方針

分野	テーマ	定量目標	基本的な方向	具体策	主担当	主関係先	推進実績
	情報発信の強化・充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な情報発信の方策の検討</li> <li>まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏でのアンテナショップ設置を検討する。</li> <li>行政観光サイト一元化、ポータル化を推進する。</li> </ul>	マーケティング対策 WT	県観光連盟他行政、	<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動、グリーンアップ活動の実施(市が 8、9 月に国体開催グリーンアップキャンペーン実施)</li> <li>歓迎のぼり、子どもたちによる手作り応援のぼりの掲出</li> <li>案内所(駅等)、休憩所(会場)の設置</li> <li>地元特産品を使ったふるまい料理の提供、ドリンクサービス</li> <li>企業・団体等の自発的なおもてなしの推進 (おもてなし活動宣言)</li> </ul>
	まちの魅力づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の施策と連動し、まちの魅力の顕在化の検討・</li> <li>まちぶらプロジェクトの進展、世界遺産登録推薦等を踏まえ関係団体との連携行政の施策と連動し、戦略を立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎の和の旅行商品化、文化財の清掃など、まちぶらプロジェクト推進への産学金連携を推進 (まちの魅力づくりを具体的に進める)</li> </ul>	観光資源の再構築 WT、	市。コンベンション協会、企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長崎の和」の商品化についてのワークショップ等開催</li> <li>低利融資制度の創設</li> </ul>
	観光 10年プロジェクトの検証と推進						
水産	水産練り製品販売拡大	①練り製品(かまぼこ)生産販売額 60 億円→120 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>県、市との連携による域外への販促活動の強化</li> <li>販売額倍増 (60 億円→120 億円)への対策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎おでん、出島揚げの販売を促進する。</li> <li>商談会への参加による販路拡大を図る。</li> </ul>	長崎かんばご王国推進委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎おでん、ちやボリタン販売</li> <li>「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業での情報発信やモニター協力店設置など</li> <li>市と「魚のまち長崎応援女子会」によるグルメガイドブックの発行など</li> <li>水産 3 研究機関(西海区水産振興センター等)を視察</li> </ul>
	「食と観光」等を踏まえた水産分野への新たな対応		「食と観光」への課題抽出等の検討	戦略検討のワーキングチームを組成し、具体策の検討を行う。	さかなの町・長崎の振興 WT	企業、県、市、大学、関係団体	
	留学生 3 千人体制の推進	①地域との連携・経済効果 (学生数増) の拡大 ◇留学生の増員等により学生 2 割(3,000 人)、教職員 1 割(300 人) 増 (大学支出および学生・教職員消費支出 587 億円→632 億円)	留学生支援センターの運営体制・財政基盤の確立の支援	留学生支援センターの機能拡充、財政基盤の確立等、センターの自立に向けた取り組みを支援	留学生受入体制の充実 WT	長崎留学生支援センター、長崎留学生支援コンソーシアム、県、市、経済団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>実務者(センター、長崎大学、県、市、経済研究所)で具体案検討中</li> <li>H25/11、長崎県帰国留学生交流会を開催</li> <li>H26/8、長崎中国同窓会を設立</li> </ul>
大学	国際交流の拡充		国際交流の機能強化の検討	国の施策等と呼応した国際交流の場の拡充を支援		長崎大学、県、市、経済団体、企業	

## 当面の推進方針

分野	テーマ	定量目標	基本的な方向	具体策	主担当	主関係先	推進実績
	産学官連携の推進		コーディネーターの連携体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターの機能強化と大学・企業間の交流の場の構築</li> </ul>	産学官連携 WPT	長崎大学、県、市、経済団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業界側へのコーディネーター設置について、関係団体と協議</li> </ul>
	インターンシップ等の推進		留学生のインターンシップ等の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップ受入企業等の拡充など、事業推進を支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長崎県インターンシップ推進協議会、長崎留学生支援センター、県、市</li> </ul>	毎年7～8に実施
	大学等への地場企業の情報提供		人口減が想定される中で、地場人材が地場企業で活躍できる機会を拡大し、地場企業の人材面からの活性化に繋がっていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学等への地場企業の情報提供</li> <li>・ インターンシップを介した地場企業の情報提供</li> <li>・ 地場優良企業と大学等との企業説明会等での連携</li> </ul>		長崎大学、県、市、経済団体	